

科研費
KAKENHI



筑波大学
University of Tsukuba

DESIGNING FOR DEMENTIA

この国際シンポジウムは、認知症のご家族や痴呆症に携わった退職者のコミュニティ、そして、病院職員の方々を対象として、アートによるインスピレーションとその環境をデザインすることで手助けし、みんなで学び、共有することを目的として開催致します。

2017年10月28日

10:00~16:30

青山学院大学 3号館4階 3407教室

無料入場

SPEAKERS



KIYOKO NISHIDA

北海道生まれ北海道武蔵女子短期大学教養科卒業、北海道銀行、名古屋市蓬左文庫、東京大学東洋学研究所、日本基督教短期大学、東京基督教大学を司書として勤務。40代で転身し芸術家をプロデュースするかたわら「臨床美術」をスタートさせる。現在は(株)芸術造形研究所相談役、日本臨床美術協会顧問、臨床美術学会顧問。著書に「臨床美術」「アクティビティで使えるかんたん芸術療法」「臨床美術士になる」などがある。旅と愛犬、掃除が趣味。



VICTORIA JONES

ビクトリア・ジョーンズは、英国とオーストラリアにて創造的な活動の経験を得て、現在は国際的なアートと創造力を培うコンサルタントです。ビクトリアは、マルチアワードウィニング賞の創始者でもあります。グレート・オーモンド・ストリート病院のための芸術プログラム、ロンドンと王室の子供たちの病院(メルボルン)のためのアーチ・プログラムの活動も行ってきました。そして、ロンドンのアンダーグラウンド芸術のための創造的なコミュニティ・プログラムを創立しました。彼女はホワイトチャペル・ギャラリー(ロンドン)のキュレーターも経験されています。2016年に、ビクトリアはメルボルンを拠点として、アーツヘルスアソシエイトを確立し、国際的な芸術と健康の融合によるコンサルタント会社を創設しました。



YUKARI IWATA

香川県生まれ。2017年に筑波大学人間総合科学研究科博士後期課程を修了し、博士(デザイン学)を取得。現在は筑波大学芸術系の博士特別研究員と(公財)筑波メディアカルセンターのアート・デザインコーディネーターとして、アートやデザインによる病院環境の改善を目指した研究と実践に取り組む。2017年8月に医療を応援するためのアート・デザインの普及を目指す「特定非営利活動法人 チア・アート」を設立し、理事長を務める。



YASUYOSHI SAITO

北海道立近代美術館、東京都美術館、東京都現代美術館にて学芸員を20年間務める。筑波大学芸術専門学群にて20年教える。芸術支援コース担当。現在、星のおしさま美術館(千葉県、愛媛県)建設準備室学芸員として星の世界を探検中。



お問に合わせ [facebook.com/designing4dementia](https://www.facebook.com/designing4dementia)

本研究はJSPS科研費JP17H04771の助成を受けたものです。